

# シルバーカー ダンサー BOX

## 〔取扱説明書〕 〔保管用〕

この取扱説明書は必ずお読みいただき、大切に保管してください。

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

- ⚠ この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。(手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人には適しません)  
使用に適しているかどうか不明な場合、必要に応じて専門家(福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等)に相談し、購入されることをお勧めします。  
なお、ご使用になる前に、この説明書の内容をよくお読みいただき、十分ご理解された上、ご使用ください。

### 目 次

警告事項	1	段差乗り越えキャスター機能	5
注意事項	1~2	駐車用ストッパの操作方法	5
各部の名称	3	座面の使用方法	5
車体の広げ方	3	ブレーキの調整方法	6
車体の折りたたみ方	4	傘止めバンドの使い方	6
ハンドルの高さ調節	4	故障かなと思ったら	6
ハンドブレーキの操作方法	4	保証書	7
カゴを載せる方法	4	SGマーク	7
キャスターの操作方法	5		

この取扱説明書に関しまして、ご不明な点や、ご質問などがありましたら、弊社サービス係、またはご購入販売店までお問い合わせください。

ご使用にあたっては、体調の状態により危険なこともありますので、  
ご自身で使用できるかご判断ください。

- 加齢等によって歩行機能が低下し、この製品が合わなくなり、危険となる場合があります。
- 室内や屋外での移動が短距離でも困難になった場合には、この製品は使用しないでください。
- 定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか相談し、確認してください。

転倒や故障の防止のために、下記の事項を必ず守ってください。

**⚠ 警告事項** 転倒など重大な事故につながる恐れがあります。

- 自動車・バス・電車、エスカレーターや階段では使用しないでください。
- 雨・雪・凍結など、滑りやすい所では使用しないでください。
- 交通量の多い所、混雑している所、及び夜間の使用は十分注意してください。
- 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますので、十分注意してください。また段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり、十分注意して慎重に段差を越えてください。
- 踏切を横断する場合、段差に十分注意してください。特に、警報機の音が鳴ったときに慌てて転倒したり、車輪が溝にはまるなど、大変危険な場合がありますので、同伴者付き添いのもと、横断されることをお勧めします。
- 車体の組み立て、及び調整は確実に行ってください。
- 使用される前に、必ず左右の固定用のロック(車体の折りたたみ防止機能)が確実にかかっているか確認してください。固定用のロックがかかっていないと、車体が折りたたまれ、大変危険です。
- 車体を片手で押して、使用しないでください。
- ハンドルの高さ調節部(左右)が固定されているか、確認してください。
- ハンドルに寄りかかったり、荷物を吊るすなど、過度の荷重をかけると、車体だけが前に動き、転倒する恐れがあります。
- 座るときや、立ち上がるときに、片側の肘掛けだけを支えにしないでください。車体が傾いて転倒する恐れがあります。
- 屋外では、買い物カゴを載せて使用しないでください。
- 踏み台として使用しないでください。
- 坂道などの斜面では、座らないでください。
- 座面を使用する場合は、必ず駐車用ストッパレバーを使い、左右両輪に駐車用ストッパがかかった状態にし、車体が動かないことを確認してください。
- 座面以外の所には、座らないでください。
- 座面に浅く座らないでください。
- 座面から立ち上がるときは、車体が動かないことを確認してから、ゆっくりと行ってください。
- 乳幼児や子供に操作させないでください。また、座面上に立たせないでください。
- 乳幼児や子供の手の届く所に放置しないでください。
- 弊社のサービス員以外の分解・改造はしないでください。

**⚠ 注意事項** 思わぬケガをする恐れがあります。

※ ご使用前に

- 製品各部を点検(特にハンドブレーキや駐車用ストッパの左右両輪の利き具合、車輪及びブレーキタイヤ押さえの摩耗、車体を押したときのグラつきの確認)をして、調整は確実に行ってください。

## ※ 使用中

- 最大使用者体重は 100kg です。(ご使用される方の体重が 100kg 以下の方に限ります)
- バッグの載荷重は最大 10kg です。座面の上に載せて使用する買い物カゴの中に入れる荷物も含めて、10kg を超える荷物は載せないでください。
- 重い荷物は、買い物カゴ・バッグの底部に収納してください。
- 買い物カゴ・バッグ以外の所に荷物を載せないでください。
- ハンドルなどに荷物を吊るしたりしないでください。
- 段差乗り越えキャスターでの段差乗り越えは、十分注意して行ってください。
- 2 cm以下の段差でも、段差を超えるのが難しい場合は、段差乗り越えの機能を無理に使用しないでください。
- 座面に人を乗せたまま、押さないでください。
- 乳幼児・子供・動物を買い物カゴ・バッグに乗せないでください。
- 車体の組み立て、折りたたみなどの操作時には、乳幼児や子供を近づけないでください。
- バッグに荷物を入れたまま、車体の組み立てや折りたたみ操作をしないでください。
- ブレーキ操作をする際、指を挟まないように注意してください。
- 駐車用ストoppaがかかった状態で、車体を押さないでください。
- 車体を折りたたむときは、指を挟まないように注意してください。
- 車体から離れるときは、必ず駐車用ストoppaをかけてください。
- 火気の近くでは使用しないでください。(樹脂が変形し、性能を維持できなくなります)
- 砂利・砂・泥のある所、特に水たまりでのご使用や、放置をしないでください。
- 用途以外には使用しないでください。

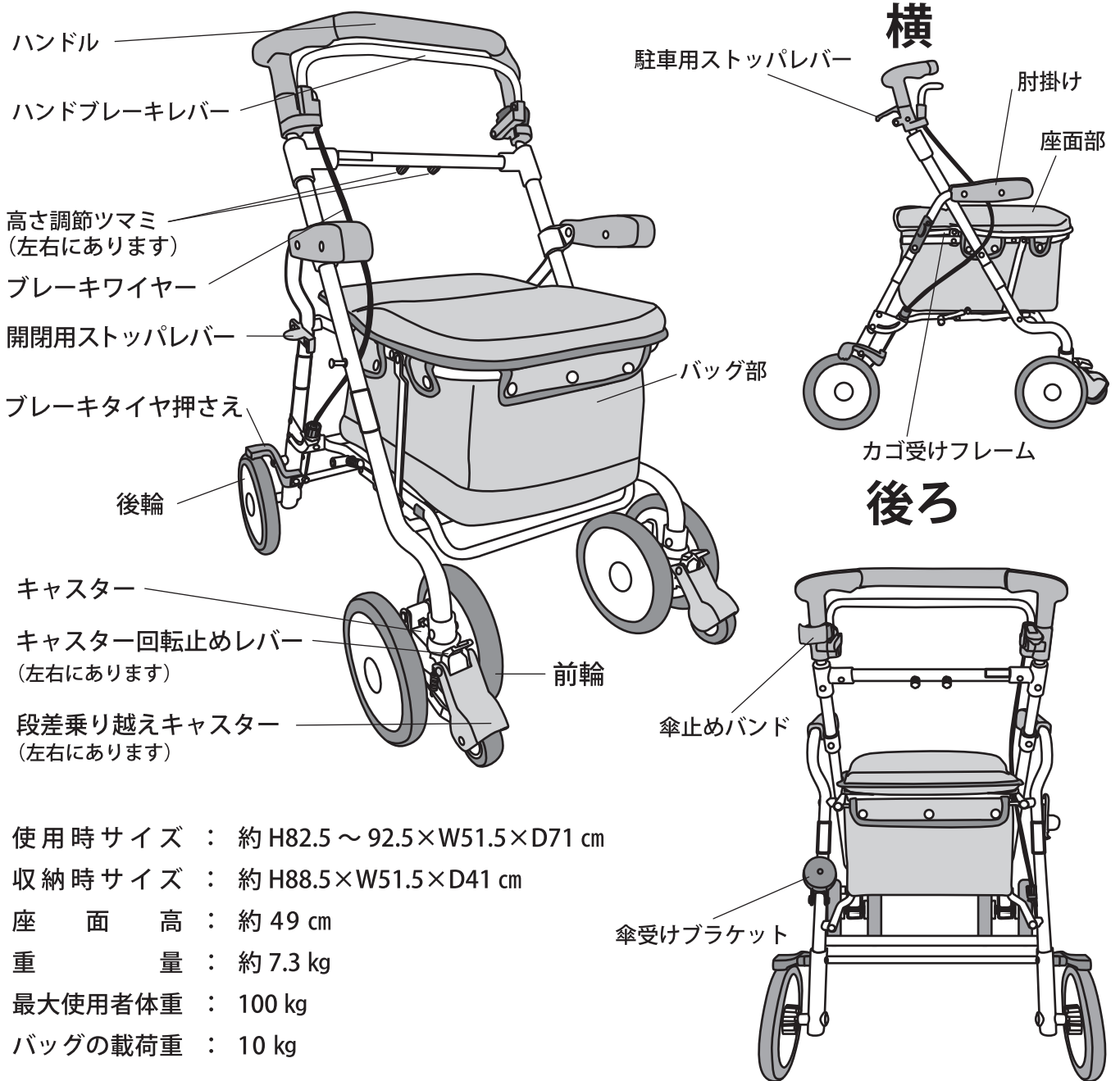
## ※ 使用后 ( 保管・お手入れ )

- 火気の近く、高温多湿の場所での保管は避けてください。
- 雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因になります。
- 車体が濡れたときは、乾いた布で拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、車体・バッグを拭かないでください。
- バッグなどの生地汚れは、柔らかい布で拭いてください。
- フレームや車輪が砂や泥などで汚れた場合、そのまま放置せず、必ず汚れを拭き取ってください。
- 長期間使用しない場合は、汚れを落として高温多湿の場所は避け、日陰で保管してください。(寒暖の差が激しい所での保管は、バッグの変色や硬化、車体の劣化、動作不良などの原因となります)
- 車輪・車体がきしむときは、連結部等に潤滑油を数滴注油してください。注油後、車体の組み立て、回転及び、折りたたみ操作を 2～3 回繰り返してください。
- 非常口・消火器・消火栓の前に放置しないでください。
- 定期的に各部 (車輪及びブレーキなど) の破損・緩み・摩耗などがいないかを点検し、必要に応じて調整または交換してください。
- 定期的に各部のリベット・ネジなどが緩んでいないかを確認してください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。

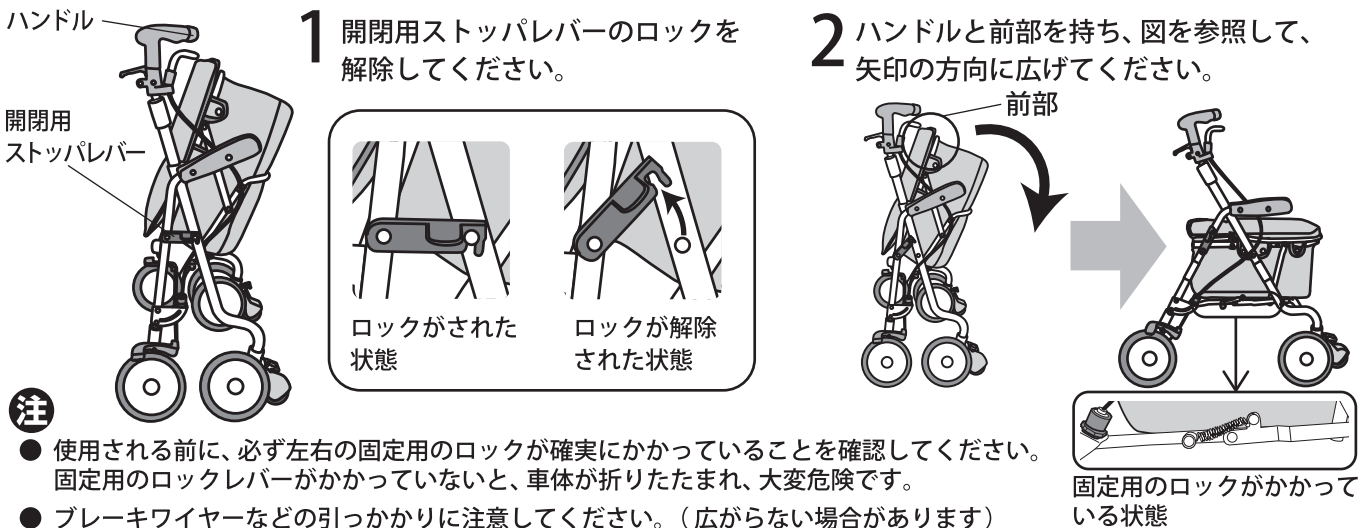
## ※ 廃棄について

- 各自治体の指示に従って、処分・廃棄してください。

# 各部の名称

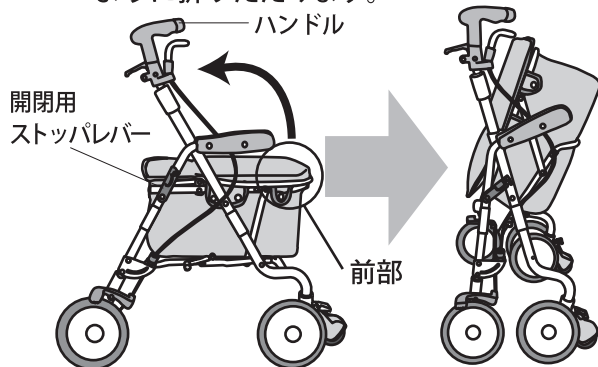


# 車体の広げ方



## 車体の折りたたみ方

1 ハンドルと前部を持ち、内側に挟み込むように折りたたみます。



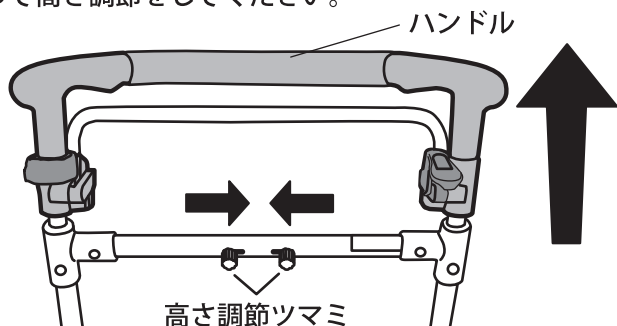
2 開閉用ストッパレバーで車体をロックしてください。



- 注**
- 物を入れたまま折りたたまないでください。
  - 折りたたむときは指を挟む恐れがありますので、注意してください。

## ハンドルの高さ調節

高さ調節ツマミを矢印の方向に押し、ハンドルを持って高さ調節をしてください。

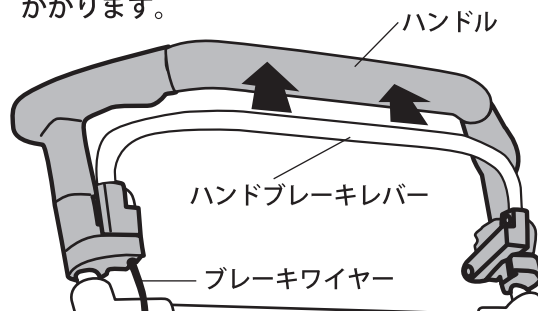


4段階の中から、お好みの高さに合わせたら、左右の高さ調節ツマミを押すのをやめてください。カチッと音が鳴り、ハンドルが動かないことを確認し、高さ調節ツマミが元の位置に戻っていることを確認し、使用してください。

- 注** ● 操作時に指を挟まないように注意してください。

## ハンドブレーキの操作方法

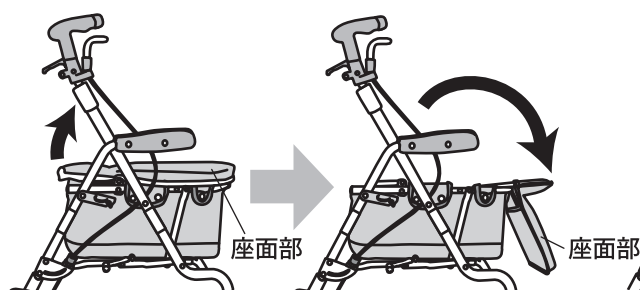
ハンドブレーキレバーを握れば、後輪にブレーキがかかります。



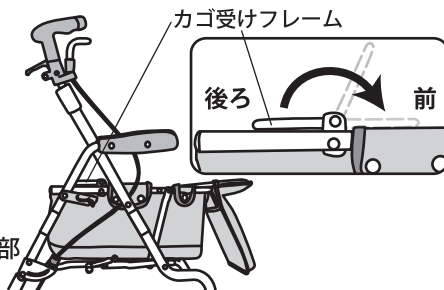
- 注**
- ブレーキ操作をする際、指を挟まないように、注意してください。
  - ブレーキは構造上、自動車のブレーキのように利かないので、過信しないでください。
  - ブレーキワイヤーが折れ曲がったりした場合、ブレーキが利きにくくなりますので、ブレーキワイヤーを交換してください。

## カゴを載せる方法

1 座面部をイラストの矢印を参考に前に移動させてください。



2 カゴ受けフレームをイラストを参照し、後ろから前に移動させてください。



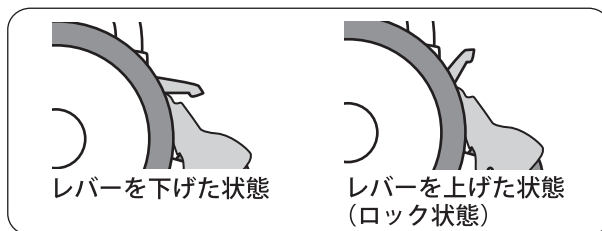
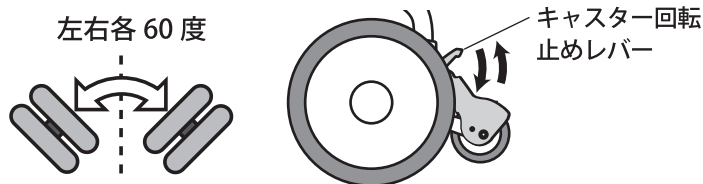
3 中央にしっかりと買い物カゴを載せてください。



- 注**
- カゴを載せないときは、カゴ受けフレームは後ろにしてください。
  - カゴを載せた状態で、段差を越える場合は、カゴが落下する恐れがありますので、十分注意してください。
  - カゴを載せたときに、カゴの大きさに問題が無いこと、グラつき等がないかを確認してください。(カゴの形状によっては使用できない場合があります)
  - 急に方向を変えると、バランスが崩れ、カゴの落下や、車体が転倒する恐れがあります。
  - 重い荷物をカゴに入れる場合、カゴの後方に入れ、荷物が片寄らないようにしてください。
  - スーパーなどの店舗内以外では、カゴを載せて使用しないでください。

## キャスターの操作方法

キャスター回転止めレバーを下げて、曲る方向に力を入れると、左右各 60 度の角度で、車輪が方向転換できます。直進状態でキャスター回転止めレバーを上げると、ロックがかかります。(方向転換ができなくなります)

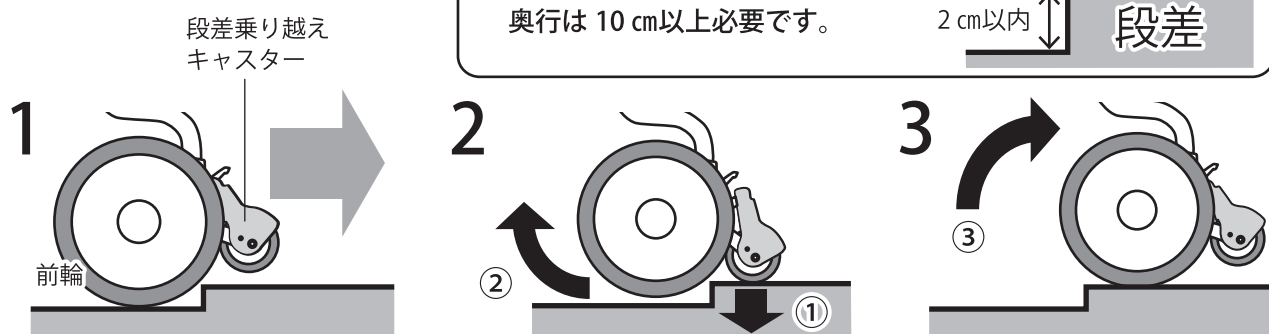
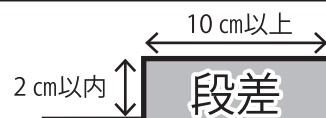


**注** ● キャスター回転止めレバーが左右同じ状態かを確認してください。

## 段差乗り越えキャスター機能

前輪が段差に当たると、前輪が押し戻される力を段差乗り越えキャスターが路面を押し出す力に変え、段差を乗り越えます。

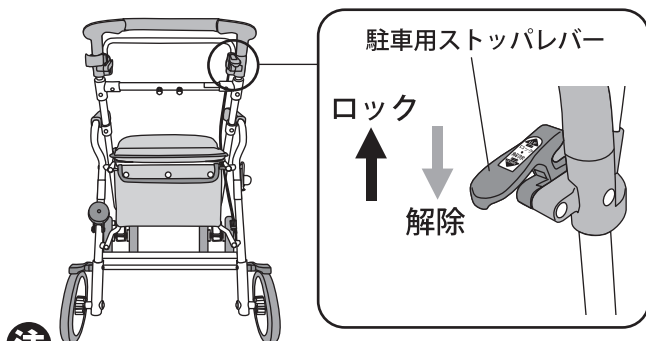
※ 乗り越える段差の高さは 2 cm 以内、  
奥行は 10 cm 以上必要です。



- 注** ● 2cm 以上の段差や、幅のない段差や突起は乗り越えられません。無理に車体を押しとつまずいて転倒したり、車体が破損する恐れがあります。
- 傾斜や、車体の向きによっては、段差が 2 cm 以下の場合でも越えられない場合があります。
  - 車体を左右に動かされる際、障害物に段差乗り越えキャスターが当たらないように注意してください。
  - 段差乗り越えキャスターがうまく稼働しなかったり、破損・音が鳴る等の不具合がある場合は、前輪や後輪の稼働に問題が無くても製品の使用をやめてください。

## 駐車用ストッパの操作方法

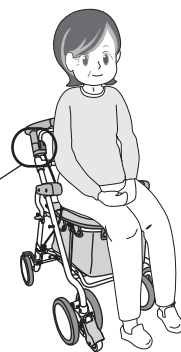
1. 駐車用ストッパレバーを上げると、後輪がロックされます。
2. 駐車用ストッパレバーを下げると、後輪のロックが解除されます。



- 注**
- 駐車用ストッパのかかった状態(後輪がロックされた状態)で車体を押さないでください。
  - 座る場合や、車体から離れる場合は、必ず駐車用ストッパをかけてください。
  - 駐車用ストッパレバーを下げる際、指を挟まないように注意してください。

## 座面の使用方法

座るときは、駐車用ストッパをかけ、(P.5 駐車用ストッパの操作方法参照) 座面を下ろして、体重が均等に加わるように座面中央にお座りください。



- 注**
- 最大使用者体重は 100kg です。(体重が 100kg を超えられる方は、ご使用になれません)
  - 必ず駐車用ストッパをかけてからお座りください。(P.5 駐車用ストッパの操作方法参照)
  - 座るときは、カゴ受けフレームが、カゴ受けを使用しない位置の状態です。
  - 浅く座ったり、後方に力をかけすぎた場合、車体のバランスがくずれて、転倒する恐れがありますので、ご注意ください。
  - 坂道など、斜面では座らないでください。
  - 足がキャスターに当たらないように注意してください。

## ブレーキの調整方法

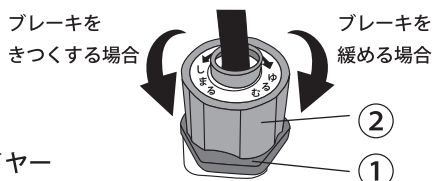
車体の初期設定はブレーキの調整がされている状態です。ブレーキを緩めることはできませんので、ブレーキの利きが悪くなった場合のみ、調整してください。

駐車用ストッパをかけていない状態で、後輪と④(ブレーキタイヤ押さえ)の間が約2mmになるように調整します。

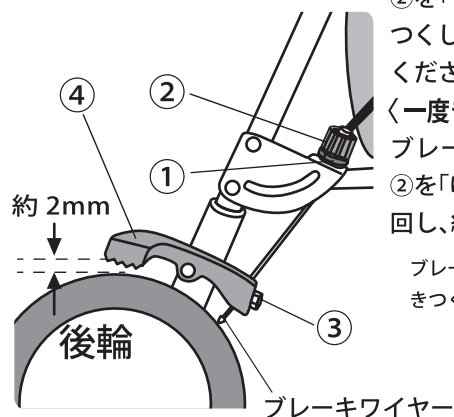
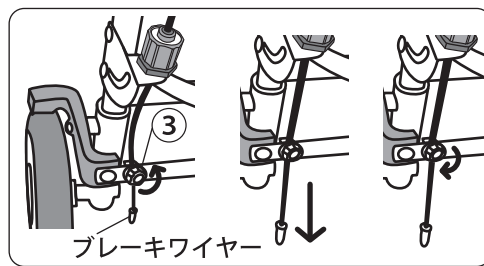
〈ブレーキをきつくする場合〉

②を「しめる」方向に回してブレーキをきつき、①を時計回りに回し、締めきってください。

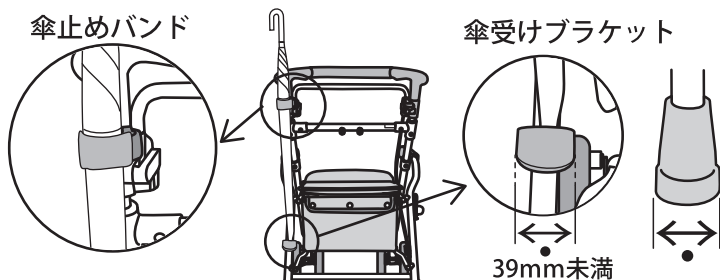
〈一度きつしたブレーキを緩くする場合〉  
ブレーキを緩めたいときは、①を緩め、②を「ゆるむ」方向に回し、①を時計回りに回し、締めきってください。



●左の方法で調整ができない場合は②を始めの状態(ブレーキを調整する前)に戻し、③を緩め、④を図1の状態にした後、ブレーキワイヤーを下方方向に引っ張り、③を締めてください。  
※工具(ラジオペンチ、ラチェットレンチ等)をご使用ください。



## 傘止めバンドの使い方



傘止めバンドを外し、傘・ステッキの先端を傘受けブラケットに入れ、傘止めバンドを傘・ステッキに巻いて固定してください。

- 注**
- 傘・ステッキは、傘止バンドでしっかりと固定してください。
  - 先端の大きさが39mm以上の傘・ステッキは、傘受けブラケットに入りません。

## 故障かなと思ったら・・・

状況	原因	対処方法
ハンドルがグラグラと動く	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 固定用ロックがかかっていない</li> <li>② ハンドルの高さ調節部が固定されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 両側の固定用ロックが確実にかかっているか、確認してください。</li> <li>② 取扱説明書の「ハンドルの高さ調節」をお読みにになり、確実に高さ調節を行ってください。</li> </ul>
駐車用ストッパ ハンドブレーキが利かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>① バネの劣化</li> <li>② 車輪の摩耗</li> <li>③ 車輪の破損</li> <li>④ 連結部のサビ</li> <li>⑤ ブレーキワイヤーの折れ曲がり</li> <li>⑥ ブレーキタイヤ押さえの曲がり・破損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① バネの交換(ご購入販売店に依頼)</li> <li>② 車輪の交換(ご購入販売店に依頼)</li> <li>③ 車輪の交換(ご購入販売店に依頼)</li> <li>④ 潤滑油を差してください。</li> <li>⑤ ブレーキワイヤーの交換(ご購入販売店に依頼)</li> <li>⑥ ブレーキ押さえの交換(ご購入販売店に依頼)</li> </ul>
キャスターが回転しない 段差乗り越えキャスターが可動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャスター・段差乗り越えキャスターの回転軸・可動部分に、土や砂が混入</li> <li>② バネの劣化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャスター・段差乗り越えキャスターを手で回転させて、土や砂を落としてから、回転軸のすきまに潤滑油を差してください。</li> <li>② バネの交換(ご購入販売店に依頼)</li> </ul>
固定用ロックがかからない	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 固定用のロック部の変形</li> <li>② 車体の歪み</li> </ul>	ご購入販売店に、製品の点検・修理・パーツ交換を依頼してください。

その他、車輪や車体の破損・異常が発生した場合、そのままご使用にならず、ご購入販売店に点検・修理・パーツの交換を依頼してください。

※製品改良のため、仕様・外観は、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

MADE IN TAIWAN 20.10



株式会社 島製作所

〒547-0001 大阪市平野区加美北3丁目12-5  
TEL 06-6793-0991 FAX 06-6793-0992



外袋



説明書